

NPO法人 日進野菜塾

キャッチフレーズ

都市農業・市民参加で都会人パワーを生かす！

キーワード

学校・企業

農林漁業体験

地産地消

取組概要

- 都市近郊の農業を活性化するため、未利用地の活用、家庭生ゴミ堆肥循環システム導入など、都市住民向け市民参加型農業の仕組みを企画・実践
- 子どもの専門家を育てる「田んぼの生きもの・少年少女養成講座」、小学校等へ田んぼの生きものを持ち込む新しい取組「お出かけ田んぼ」を実施
- 食品や住宅企業、大学等と連携・協働し「CSRとしての食と農と環境教室」「農体験つき住宅の開発」「学校の専用田んぼづくり」を実施

活動の効果

- 各種事業の展開により、多様な市民の参加、リピーター、企業、大学、NPOなど連携組織が増加
- 自宅出る生ごみをたい肥化し畑に使う循環型農システムの導入が促進、より生活と密接した取組に繋がる
- 未利用地の解消、都市農業モデルのPR、子ども体験学習の推進に寄与



田植え体験教室



日進・げんき朝市



生きもの調べ体験風景

NPO法人 日進野菜塾

愛知県名古屋市西区江向区5丁目49-401

TEL:052-934-7207 FAX:052-934-7207

ベジエール渥美^{あつみ}

キャッチフレーズ

渥美半島の野菜・果物の応援隊

キーワード

食育

地産地消

女性の活躍

取組概要

- 平成26年4月、野菜ソムリエ、ジュニア野菜ソムリエ47人（うち女性38人）を構成員として設立
- 食育推進や担い手づくりのため、保育園や小中学校での料理教室（調理実習）や野菜の収穫体験等の各種イベントを開催
- ベジエール渥美の食育教育、レシピ考案などの活動紹介を通じて、日本一の農業地帯である渥美半島「田原市」の農業と食をPR

活動の効果

- 子どもの頃から「育て、食し、知る」という習慣を身につけることで、野菜好きな子どもが育ち、農への興味・関心も向上
- 取組は発展途上であるが、食育イベントへの参加人数及びレシピ考案・紹介数の増加などからも女性の活躍の場が増え、地域活性化に寄与



野菜の収穫体験



イベントでの食育コーナー



中学校での食育講座

ベジエール渥美

愛知県田原市田原町南番場30-1

TEL:0531-23-3517 FAX:0531-22-3817

美浜町都市農村交流協議会

キャッチフレーズ

愛知美浜グリーン(ブルー)・ツーリズム

キーワード

自然・景観

教育

農林漁業体験

取組概要

- 平成25年度を都市農村交流改革元年と位置づけ、新たに漁業体験等を「ブルー・ツーリズム」と名付け事業を展開
- グリーン・ツーリズムとして「イチゴ狩り、ジャム作り体験」「酪農体験」、ブルー・ツーリズムとして「海辺の生物体験」「地引き網とウミガメの放流体験」など各種イベントを実施
- これらの取組を町との少子化対策と連携（「みはま婚活コラボ」）して実施

活動の効果

- 平成13年4月から平成24年までの12年間で農業体験をはじめ35種類の体験を実施、2,565人の参加
- 協議会設立以来、約3,000人が美浜町を訪れ、共に体験・感動し、今後のリピーター、宣伝マンとして期待
- みはま婚活コラボにより、カップルが成立



イチゴ狩りとイチゴジャム作り体験



地引き網体験：ウミガメ放流



酪農体験(子牛の心音)

美浜町都市農村交流協議会（美浜町農業水産課内）

愛知県知多郡美浜町大字河和字北田面106

TEL:0569-82-1111 FAX:0569-82-5423

道の駅アグリステーションなぐら 食堂部

キャッチフレーズ

母の情熱＋エゴマだれ五平餅＝地域の元気

キーワード

伝統・継承

地産地消

女性の活躍

取組概要

- 平成3年に「女性が元気を生むことで、地域も元気になる」との考えに志を同じくする4人の女性が「お母さんの店」を開店
- 地域の伝統食である五平餅を改良し、地元素材の米とエゴマを使った「エゴマだれ五平餅」を開発、イタリアのミラノ国際博覧会でも紹介
- 耕作放棄地を活用しエゴマを栽培、道の駅が栽培希望者に種及び苗を提供、町で生産されたエゴマを全量買い取り、町をあげて積極的にエゴマを栽培活用

活動の効果

- 「お母さんの店」の設立により、地元のお母さん方の活躍の場が創設
- 平成26年「第2回地場もん国民大賞」の最終選考30点に選ばれ、県外・海外への情報発信、平成27年「イタリアのミラノ国際博覧会」で紹介され高評価
- 地元の素材にこだわった「エゴマだれ五平餅」の販売促進は、地域の農業形態の維持・振興、日本の農村風景である里山の保全にも寄与



店頭の様子



エゴマだれ五平餅



東京丸の内イベント出展

道の駅アグリステーションなぐら 食堂部

愛知県北設楽郡設楽町西納庫字森田32

TEL:0536-65-0888 FAX:0536-65-0889

奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会

キャッチフレーズ

掘りおこしたむらの資源「ジビエ」

キーワード

自然・景観

「食」の提供・活用

地産地消

取組概要

- 平成25年より地域の食と文化を紹介するイベント「奥三河つぐ高原マルシェ～秋の収穫祭～」を10月に開催、都市住民との交流促進
- 農産物に被害をもたらすイノシシ・シカを食品衛生法に準じた処理を行い、食肉（ジビエ）を供給する施設「奥三河高原ジビエ活用施設（奥三河高原ジビエの森）」を整備し、ジビエを使用した商品開発、安定的な販路の確保

活動の効果

- イベント開催により都市と農村の対流機会が増加し、賑わいと元気を創設するふるさとづくりを実現
- 奥三河高原ジビエ活用施設の設置における各種課題解決の場において、地域協議会を含む地域関係者間の連帯感が強化
- 道の駅「もっくる新城」へのジビエ供給など、ジビエ販売という新しい地域産業を興し、獣害対策にも貢献



マルシェのステージイベント風景



ジビエ料理教室



野菜収穫体験

奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会

愛知県北設楽郡設楽町津具字下川原6-1

TEL:0536-83-2114 FAX:0536-83-2335

ちやうす
茶臼の里合同会社

キャッチフレーズ

じじばばの 耕作放棄地解消と都市との交流

キ ー ワ ー ド

「食」の提供・活用

農林漁業体験

6次産業化

取 組 概 要

- 平成27年4月にリニューアルオープンした道の駅「豊根グリーンポート宮嶋」において、茶臼の里米で作った郷土料理「五平餅」と地元産野菜の販売、レストランでは茶臼の里米を使ったメニューの提供
- 平成23年から田んぼオーナー制度を活用し、田植えから収穫祭まで年4回、都市部オーナーとの都市農村交流
- 耕作放棄地を再生し、地元特産物であるトウモロコシを栽培、もぎ取り体験・試食会などイベントを開催

活 動 の 効 果

- 耕作放棄地を解消し農地として活用することで、美しい農山村の保全に寄与
- 道の駅との連携により、雇用の場を確保
- イベント開催時の都市住民との交流において、地域ボランティアの活躍、地域住民のやる気生き甲斐づくり、都市農村交流の推進と地域のファンづくりに繋がる



田んぼオーナーの田植え



トウモロコシもぎ取り体験



茶臼の里米を使ったレストランメニュー

茶臼の里合同会社

愛知県北設楽郡豊根村坂宇場字下中村36-25

TEL:0536-87-2217 FAX:0536-87-2217